

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【愛媛県】

学校名【伊方町立三机小学校】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	西宇和郡伊方町立三机小学校 全校児童25名 地域・保護者 29名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間・体育） ② 行事名（オリパラ教育講演会、人権講演会） ③ その他（校長訓話） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○ スポーツに、楽しみながら目標や向上心を持って意欲的に取り組む。 ○ オリンピックやパラリンピックの意義や様々な国の文化等を知り、多様性を理解する。 ○ パラスポーツをとおり、共生社会について考える。
5 取組内容	○7月下旬 5・6年 「パラリンピックについて調べ学習」 ・始まりの経緯と歴史、種目等を調べた。 各学級 「ボッチャ体験」 ・パラスポーツ「ボッチャ」について知り、体験した。  ○10月上旬 5・6年 「オリンピックについての調べ学習」 ・種目や歴史、女子サッカー等を調べた。

○10月8日(木) 全校児童・保護者

「オリパラ教育講演会」

愛媛FCレディース所属 なでしこジャパン招集選手

上野 真実 選手 講演会



【事前】

- ・各学級で上野選手について学習した。
- ・保護者へ参加案内を送付した。

【当日】

- ・講話・実演・実技指導

【事後】

- ・全校児童の感想や応援メッセージ付き色紙を届けた。

○10月中旬 教職員

「DVD視聴によるパラスポーツの現状理解」

- ・県のパラスポーツの現状を理解した。

○12月1日(火) 全校児童・保護者・地域住民・関係団体

「人権講演会」

車いすテニスプレイヤー 2019世界ジュニアマスターズ男子シングルス準優勝

清水 克起 選手



【事前】

- ・校長が、講話で全校児童に、パラリンピック種目や車いすテニスについて説明し、清水選手を紹介した。
- ・5・6年が、パラリンピック種目や選手、車いすテニス等を調べた。
- ・保護者や地域に参加案内を送付した。



【当日】

- ・講話・実演・実技指導

【事後】

- ・全校児童の応援メッセージ入りの感想を届けた。
- ・5・6年が、ノーマライゼーション・ユニバーサルデザインについて話し合った。

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピック・パラリンピックに関心を持っていなかった児童も多かったが、この教育を通じて、関心が高まった。 ○ 現役選手による講話や実演、実技指導により、児童が、本物のすばらしさに触れることができ、「スポーツに、楽しみながら目標や向上心を持って意欲的に取り組む」ことの大切さを感じ取ることができた。 ○ 特に、高学年においては、パラスポーツやパラアスリートとの触れ合い、話し合いをとおし、共生社会についてしっかり考えることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍の中、制限をしながらではあったが、講演会において、どちらとも保護者等にも参加を呼び掛け、地域にも広げることができるようにした。 ○ 講演会においては、話を聴くのみでなく体験型とし、子どもたちが五感で感じ取れるようにした。 ○ パラスポーツ・ボッチャ体験において、県からの器具セット借用期間を長く設定し、全学級で体験することができた。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍の中で十分な周知はできなかったが、参加した保護者・地域の方の反応はととてもよかった。子どもたちのみでなく、大人の参加も呼びかけるとよいと思う。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピック・パラリンピックの実施年である来年度、機会があるごとに、オリンピック・パラリンピックについて学び、児童の興味関心を高めていくとともに、伊方町がホストタウンとなっているバミューダ選手との交流も図っていききたい。